

市民と市長との対話集会 「スマイルミーティング」

上越市

令和8年5月14日(木)
牧区(牧コミュニティプラザ)

・・・ 略歴 ・・・

- 上越市藤巻出身
- 高志小学校、城北中学校、高田高校卒(中学・高校とも陸上部に所属)
- 東京大学法学部卒
在学中(1975年)に外務公務員上級試験合格
- 1976年4月外務省に入省
2017年12月の退官まで41年間勤務
- 外交官として、国内ではG7サミット、WTO(世界貿易機関)、OECD(経済協力開発機構)、国際協力銀行出向、OECD東京センター所長など、主に経済・経済協力畑を担当
- 在外では、ドイツハイデルベルク大学にて研修、在オーストリア大使館、仏(OECD事務局)、ベルギー(EU日本政府代表部)、在タイ大使館に勤務
- その後、フランクフルト総領事、アフガニスタン大使、ミュンヘン総領事、ヨルダン大使、ハンガリー大使を務める
- 2018年4月～2023年1月 上越市創造行政研究所所長
- 2025年11月9日 上越市長就任



1 はじめに

- ・ふるさと上越への思い

- ・市政運営の抱負

「信頼と誠実」を旨として、市民一人ひとりに

寄り添いながら、安心して心豊かに暮らせるまちづくり

⇒輝く上越、誇れる上越、

「ここに住んでよかった」と皆が感じられる上越



2 まちづくりの目標「4つの視点」

①みんなの笑顔 ②産業いきいき

③こどもと家族を真ん中に ④多様な学び

3 令和8年度の実施のポイント(4つの視点別)

4 令和8年度 牧区の実施の主な実施



2. まちづくりの目標「4つの視点」

1 みんなの笑顔



2 産業いきいき



3 こどもと家族を真ん中に



4 多様な学び



3. 令和8年度の取組のポイント(4つの視点別)

1 みんなの笑顔

◆13区の地域振興と活力向上

- ・多世代交流プレイスの整備（柿崎区ほか1か所）

◆安心の医療・介護・福祉

- ・上越地域医療センター病院の改築（設計に着手）

◆災害への備え・地域防災力の向上

- ・原子力防災の取組
（UPZ内指定避難所における空調設備設置 等）

◆美しく快適なトイレを通じた 「人にやさしいまちづくり」

- ・公共施設等のトイレ改修
（不特定多数の利用が見込まれるトイレから着手）

◆安定した行財政の基盤整備

- ・ふるさと納税の取組促進（寄附金受領目標額：15億円）
- ・ふるさと納税返礼品の開発等を支援する補助金の新設



2 産業いきいき

◆働く人を守り、育てる

- ・外国人労働者の受入支援（セミナー・個別説明会）
- ・就農に向けた研修機関の設置（R9年度研修生受入開始）

◆産業経済等の基盤となるインフラの整備

- ・直江津港開港60周年記念イベント

◆若者にとって魅力のある企業の誘致

- ・サテライトオフィス等に対する家賃支援（補助率等引上げ）

◆デジタル・AI・ITの導入・活用

- ・ものづくり企業DX伴走支援（DX導入段階の事業者支援）

◆農政の将来に関する取組

- ・スマート農業の推進（実演見学会、機械導入の相談支援）

◆観光振興

- ・インバウンドの誘客促進
（外国人ニーズに合わせたツアー・コンテンツ造成 等）
- ・連続テレビ小説を活用した観光推進（NHK「風、薫る」）

◆将来の産業労働を担う子どもたちの学習

- ・インターンシップ受入企業ガイドブックの作成
（高校生・大学生等に提供）



3 こどもと家族を真ん中に

◆切れ目のない子育て支援

- ・子育て短期支援（里親宅における一時預かり）

◆子育て世代・若者の家計負担等の軽減

- ・遠方の分娩施設等への交通費等の支援
- ・小学校給食の無償提供
- ・若者の奨学金返還への支援（助成対象期間を5年→6年に延長）

◆こどもと家族の相談支援の強化

- ・子どものメンタルヘルスを守るネットワークの構築



3. 令和8年度の取組のポイント(4つの視点別)

4 多様な学び

◆良質な教育

- ・大学等を応援する補助金の新設
(若者の人材育成や定着に向けた取組を支援)

◆多様な教育サービス

- ・外国につながる児童生徒・高校生への学習支援
(「中学生」→「小学校5・6年生、高校生」に拡充)

◆市民の学びと育ち

- ・図書宅配サービス
(図書館への来館が困難な人に希望図書を自宅にお届け)



◆地域独自の予算事業

・農村集落の新たなチャレンジ事業

若者団体「まきにいる」による農村文化伝承の取組を支援します。



「まきにいる」の皆さん

・棚田のきらめき事業

棚田に約2,000個のLEDライトを設置して幻想的な空間を創り出す「棚田のきらめき」の開催を支援します。



棚田のきらめき

・地域活性化促進(まき深山のともしび)事業

灯の回廊に合わせ、牧区内外の交流を深めるため、地域住民の手作りイベント「まき深山のともしび」の実施を支援します。



まき深山のともしび

◆牧区の持続可能なまちづくりに向けて

市内でも著しく進行する人口減少傾向の緩和を図るため、これまで地域で重ねてきた話合いに基づいて抽出した3つの地域課題、

「体験・移住」

「農業・林業」

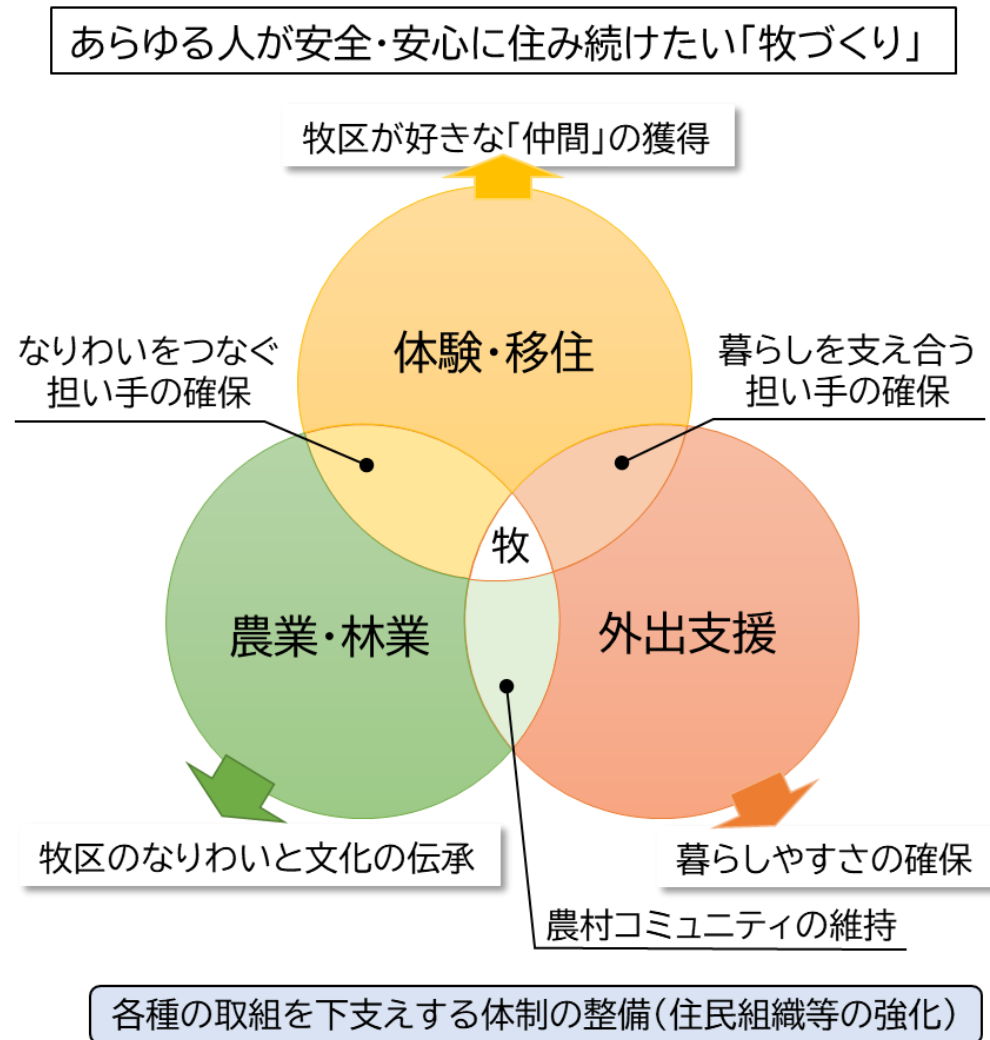
「外出支援」

に向き合うとともに、これらの取組を下支えする地域運営組織体制の構築を目指し、

あらゆる人が安全・安心に

住み続けたい『牧づくり』

に向けた話合いや様々な取組を、地域の皆さんとともに行っていきます。





ご清聴ありがとうございました。